活動報告シ 主催:北海道建築士会まちづくり委員会 |北海道建築士会 まちづくり会議 ● 事業名 平成31年3月16日(土) 胆振東部地震から考える ~建築士・建築士会ができる。 ● 場 所 札幌 大通公園ビル(通称:ヤクルトビル) ●協力団体等 ■景観まちづくり ■防災まちづくり ■歴史まちづくり ■街中(空き家)まちづくり ● 活動の種別 ■福祉まちづくり 口木のまちづくり 口経済まちづくり ■人まちづくり 口その他

● 活動目的

(公社) 日本建築士会連合会では一昨年、まちづくり活動の質の向上を目指し、防災/歴史/景観/街中(空き家)/福祉という5つのまちづく (公社) 日本建業工会建日会では一時年、よろうくり活動の員の同工を目指し、防災と歴史と景観と同年で生き家がと福祉というようのようが入り部会が発足した。こうした中、北海道建築士会としても、この5つの分野を意識したまちづくり活動を進めている。北海道建築士会まちづくり会議は、年に1回、各まちづくり部会員及び活動関係者(本部の各委員等)が一堂に集まり、活動報告やシンポジウムを行うなど、情報を共有する場となることを目的に開催するとともに、「まちづくり」というキーワードを通して、各委員会の連携強化も目的とする。

防災/歴史/景観/空き家/福祉というカテゴリーのまちづくり活動について、連合会の動きや北海道の各まちづくり活動内容の報告を行うとと 今回は「胆振東部地震」をメインテーマとし、その被害報告や様々な課題を伺い、このような災害に対し、建築士・建築士会に何ができる のかみんなで考えた

1. 連合会まちづくり会議の報告、各まちづくり部会員からの報告 (15:00~15:45) 景観まちづくりや復興まちづくりの最先端をいく神戸市にて開催され、各都道府県建築士会まちづくり委員長の他、市民団体や行政の方々が参加された。市民団体から、まちづくりはハード整備よりもソフトの充実が大切であり、建築士は黒子的にまちづくりをコーディネートしていくこと

奈良主幹よりご講演いただいた。

〈講師〉 (地独) 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所地域研究部 松村部長

北海道建設部住宅局住宅課 奈良主幹

1. パネルディスカッション (16:45~17:30) 「震災による問題点や課題。そして建築士や建築士会に求められること」をテーマに、①震災で、建築士・建築士会として何をした?②震災を経験して浮き彫りになった問題点や課題は?③建築士・建築士会に何が求められている? というお題について、パネラーのみなさんからお話しを伺った。建築士会に求められているものは、「復旧段階での相談業務に関わってほしい」「建築士は人や暮らしを扱う視野が広いのでまちづくりの担い手になってはしい」「では数者を表しているものは、「復日段階での相談業務に関わってほしい」などの意見が挙がっていた。また、厚真町にお住ま いの参加者からは、罹災証明における診断を建築士会へ依頼すべきとの意見もあった

〈パネラー〉 【行政】北方建築総合研究所 地域研究部 松村部長/【行政】北海道建設部住宅局住宅課 奈良主幹/ 防災まちづくり部会 小町委員/歴史まちづくり部会 関川委員/福祉まちづくり部会 本間委員 〈コーディネーター〉 まちづくり委員会 針ヶ谷委員長

(コーディネーター) まちづくり委員会 針ヶ谷委員長
4. グループ討議 (17:45~18:30)
「建築士・建築士会ができることは何か」をテーマに、防災/歴史/景観・空き家/福祉の4テーブルに分かれ①これまでに挙げられた問題や課題、要望をどう解決する?②建築士・建築士会ができることは何か? を行政の方々を参加者が囲み、盛り上がりのあるグループ討議が行われた。

●参加者	運営	会員	一般	学生	子ども	講師等	その他	計
	7	21	3			2		33





開会挨拶

講演





パネルディスカッション

グループ討議

問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 まちづ	くり委員会	担当者	委員長 針ヶ谷 拓己(はりがや たくみ)
連絡先	TEL 011-251-6076	FAX 011-222-0924	e-mail	info@h-ab.com
ホー	-ムページアドレス	http://h-ab.com/committee/machi	_	